

# 事業報告

平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

## 1. 庶務関係

(1) 会員の状況（29.3.31 現在）（ ）内前年同期増減

ブロック	正会員	学生会員
東北・北海道	113 (-16)	8 (+4)
関東	460 (-6)	53 (+9)
東海・北陸	144 (+5)	6 (-6)
近畿	257 (-11)	34 (+13)
中国・四国	126 (-11)	11 (±0)
九州	127 (-3)	10 (+7)
海外	8 (-1)	0 (±0)
合計	1235 (-43)	122 (+27)

団体会員 166 団体、賛助会員 48 団体、名誉会員 8 名、顧問 3 名

(2) 大会の開催

一般社団法人日本調理科学会平成 28 年度大会

平成 28 年 8 月 28 日（日）、29 日（月）名古屋学芸大学

(3) 研究の奨励及び研究業績等の表彰

学会賞 1 名、奨励賞 1 名、功労賞 2 名の表彰

(4) 会議の開催

1) 一般社団法人日本調理科学会平成 28 年度代議員総会

平成 28 年 6 月 5 日（日）お茶の水女子大学

2) 理事会 4 回

3) 編集委員会 6 回

4) 情報管理委員会 2 回

5) 学会賞選考委員会 2 回

6) 規程委員会 1 回

7) 刊行委員会 2 回

## 2. 企画・広報関係

年次大会を中心とした企画・広報を行った。また、6 月 5 日（日）「加熱調理研究の道程」として横浜国立大学名誉教授 渋川祥子氏の講演会を開催した。

また次年度、創立 50 周年を迎えるにあたり、「(一社) 日本調理科学会創立 50 周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、その事業組織として記念行事委員会・記念増刊号編集委員会・記念出版委員会・募金委員会の活動を開始した。

## 3. 常置委員会関係

(1) 編集委員会 『日本調理科学会誌』の発行 年 6 回発行 A4 判

第 49 巻 第 2 号 1,750 部、第 3 号 1,700 部、第 4 号 1,700 部、第 5 号 1,700 部、第 6 号 1,700 部

第 50 巻 第 1 号 1,700 部

編集・刊行

① 論文投稿状況（28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日）

報文 17 編、ノート・資料 12 編、クッキングルーム 1 編 計 30 編

② 論文審査状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

区分	掲載済	印刷待ち	著者取り下げ	却下	審査・訂正中	計
25 年度投稿	33	0	2	2	0	37
26 年度投稿	36	0	6	15	0	57
27 年度投稿	25	0	2	13	1	41
28 年度投稿	4	4	2	6	14	30

## ③ 学会誌 49 巻 2～6 および 50 巻 1 号掲載発行状況

区分	2号	3号	4号	5号	6号	1号	合計
報文	5	2	1	1	1	2	12
ノート・資料	2	3	1	1	2	0	9
総説	0	1	1	1	1	1	5
講座	1	1	1	1	1	1	6
教材研究	1	1	1	1	1	1	6
クッキングルーム	1	1	1	2	1	1	7
トピックス&オピニオン	1	1	1	1	1	1	6
新刊紹介	1	1	3	0	2	0	7
ページ数	85	73	36	43	47	37	321

## (2) 情報管理委員会

- ① 情報管理委員会を開催し、ホームページ等の管理、運用を行った。
- ② 平成 28 年度大会演題登録はアトラス社の PASREG を利用して行った。  
研究発表要旨を J-STAGE にて公開した。
- ③ 学会誌は発行 1 か月以内に電子版を J-STAGE にて公開した。なお公開業務は平成 29 年度より編集委員会の担当とする。
- ④ メール・ニュース 4 月 20 日号、4 月 25 日号、5 月 5 日号、5 月 10 日号、5 月 14 日号、5 月 18 日号、5 月 18 日号、6 月 14 日号、7 月 5 日号、12 月 27 日号の 10 回発行した。アドレスの更新を年度内 2 回行った。

## 4. 渉外関係

- (1) 日本学術会議協力学術団体として生活科学系コンソーシアムの活動を行った。
- (2) 下記の関連学協会と事業の共催、協賛、情報交換を行った。  
(一社)日本家政学会、日本官能評価学会、日本家庭科教育学会、日本食生活学会、(公社)全国調理師養成施設協会、日本熱測定学会、日本高圧力学会、日本熱物性学会、(一社)日本レオロジー学会、(公社)日本冷凍空調学会、日本食品・機械研究会、(公財)不二たん白質研究振興財団、食品ハイドロコロイド研究会、(一財)日本食生活文化財団、(公財)ソルト・サイエンス研究財団、その他の学協会

## 5. 研究委員会関係

- (1) 災害時メニュー開発に関する研究委員会は、認定 NPO 法人キャンパーの熊本地震での炊き出し活動に尚綱大学短期大学部食物栄養学科 2 年生が中心となり活動し、それに中村学園大学の学生も参画し、4 月 20 日より 5 月 8 日まで、熊本県益城町にて行った。
- (2) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会は、本年度大会にて 特別企画『次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理』ポスター発表 (テーマ「主食の特徴」) を行い、家庭料理研究委員 (352 名) にポスター発表要旨を収録した冊子を配布、大会後に学会 HP にも公開した。また研究の活発化を図るため、編集委員会の協力のもとに本学会誌における「家庭料理研究審査委員」の特別枠を設けた。

## 6. 特別委員会関係

刊行委員会は、創立 40 周年記念事業として日本調理科学会監修のクッカーサイエンスシリーズを刊行しており、2016 年 8 月に第 7 号を刊行した。

## 7. 支部関係

次ページに掲載